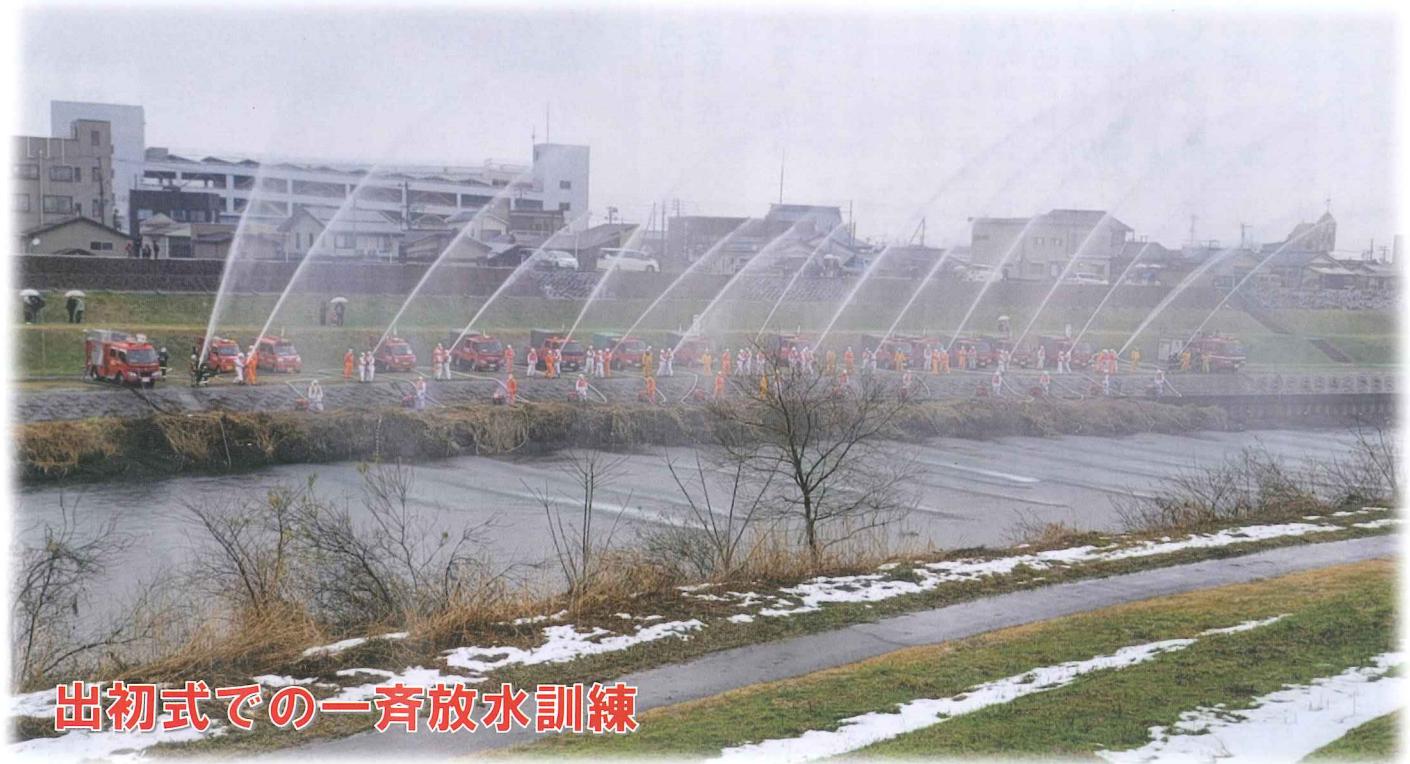


第2号

広報三条市消防団



出初式での一斉放水訓練



この三年間を振り返って

三条市消防団長 諸橋 一徳

令和二年四月より三条市消防団長に就任してから今日に至るまで、多くの方々より多方面にわたり御支援、御協力いただき誠にありがとうございます。

新体制でスタートした当初から、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、国や県の行動制限等の大きな影響を受けた三年間でした。

全ての活動を制限又は中止せざるを得ない状況下においても、数件の火災発生があり、感染対策を用いた活動となりました。改めて火災などの災害は時を選ばない事を痛感しました。常に消防力・団員士気を低下させないよう可能な範囲での取り組みを行つてまいりましたが、その一方で、団員一人が感染すれば、その家族や周囲にまで及ぶ影響にも配慮しながら行う活動は、多くの迷いと大きな決断を伴うものばかりでありました。

令和五年度から団員定数、総員一〇四五人体制で新たに活動がスタートします。火災・災害活動を主軸とする団員、後方支援、救護活動を主体とする女性、学生消防隊、様々な分野で活動をし、市民の安全・安心に努めます。依然としてコロナウイルス感染症の収束には至っておりませんが、引き続きウイルス感染拡大の動向を注視しながら、新様式を取り入れた消防団活動を実施してまいります。

今後とも消防団活動に御理解と御協力、御支援をよろしくお願い申し上げます。

三条市水害対応総合防災訓練

水害への備え

三条市消防長

古閏勝昭

三条市では二度の大水害に見舞われ、尊い生命と多くの財産が失われた教訓から「三条市水害対応総合防災訓練」が始まりました。訓練が始まつた当初は不慣れな点や戸惑いもあつたと思います。回数を重ね、現在では水害時の対応や防水資器材の取り扱いなど目を見張るものがあります。また、ベテラン団員指導の下、これから消防団を担



(参加団員全員で整列)

う学生消防隊の訓練を拝見し、大変頼もしく感じた所です。

「継続は力なり」来るべき水害への備えを共に創造しましよう。

消防団は、女性消防隊、学生消防隊を含む二百五十名がそれぞれの訓練会場で招集訓練、水防訓練、応急救護所設営・救急隊支援訓練、物資搬入搬出訓練を実施しました。

訓練を通して一連の動作確認が出来たのが良かったと思います。

近年は異常気象による自然災害が各地で発生しています。七・一三水害を教訓

令和四年六月十九日「三
条市水害対応マニュアル」
に基づき訓練が行われまし
た。

水害対応総合防災訓練



(積十のう工夫の訓練)

に、今後はもう少し自治会、
自主防災組織と協力した訓
練が出来ればと思います。

総合防災訓練に参加して
東分団長 小林 定良

の訓練の重要性を実感しました。

水害時の対策
学生消防隊 立石 賢哉



私たち消防団員
は、いつ災害が発生
しても対処できる
よう訓練に努め、市
民の大切な命を守
れるよう有事に備
えていきます。

大島方面隊は、井栗・大崎方面隊及び、学生消防隊と合同で「積土のう工」の水防工法を行いました。

「積土のう工」は、越水を防止する工法の一つで、上流から長手積みで土のうを積み上げ、前面の土のうと背面の土のうを積み込み間に土を詰めていきます。その後前面の土のうに、鉄杭を一メートル間隔で打ち込む形状となっています。

消防団員及び学生消防隊員の、技術習得に取り組む

は 土の袋の口紐の結び方、土の詰め方などを教えて、設置方法を確認し、作業を進めました。

この時期になると十数年前の七・一三水害、七・二九水害が脳裏に浮かんできます。近年は、異常気象により全国各地で水害による被害が増えていて、火災だけでなく、水害からも市民を守る為に、日頃

(改良積土のう工の訓練)

私は今回、水害時に役立つ土のう作成訓練に参加させて頂きました。訓練では、土のうの作り方や積み方にについて教わりました。土のうを作る際の紐の結び方や袋に入れる土の量などの基礎知識を学び、積み方では積土のう工と改良積土のう工の二種類の積み方を経験しました。土のうを運ぶのがとても大変で、調べた所によると土のう一つ二十キログラムあるそうです。

私の地元では一度水害が起きていて辛い思いをしたので、もしもの時のためには土のうの他にも様々な知識を身に付けたいです。

栗方面隊訓練
中央分団長
岡村一弘



(積土のう工の訓練)

水防訓練においては、水防活動が未経験の団員も積極的に参加し土のう作り等を行い、正・副分団長の指示のもと二班に分かれて月の輪工・積土のう工が行われ、それぞれの用途の確認や作業手順を再確認しました。近年の異常気象により豪雨災害は身近な災害のひとつであり、とりわけ三条市は水害の発生する可能性が高い地域だと、あらためてこの訓練を機に心にとどめいつ何時発生するかわからぬ災害に備え、訓練に取り組んで参ります。

員一同汗だくになりながらの訓練となりました。積土のう工、月の輪工を行ふ為の土のう作りから始め、近年は水害の被害も無かつた為か忘れている団員も多く、手順の再確認には良い機会となりました。再編に伴つて、過去の二度の大水害を経験している団員も減少しております。その為にも、このようないつ練を定期的に行って、いつ訪れるかも解らない有事に備える必要性を強く感じま



(月の輪工の訓練)

私たち学生消防隊は大雨災害や地震などの災害が起きたことを想定し、飲料水やお米、缶詰などの救援物資を入れる予定のダンボール等をトラックに搬送しました。このような災害時を想定した搬送訓練に参加することは初めてで、貴重



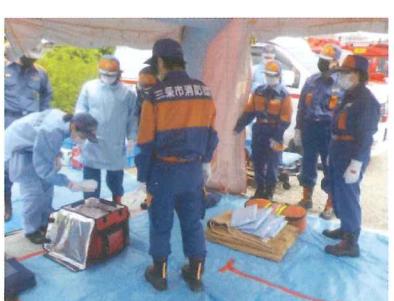
(ヤマト運輸倉庫での搬送訓練)

有事への備え
鹿嶋分団長
鈴木 和弘

訓練をすることで課題や反省点が見えてきたので、今後積極的に参加し、安心安全に暮らせるように、三條市に少しでも貢献出来たらしいと思います。

トリアージタツグを使用して傷病者に寄り添いながら情報収集し、女性ならではの声掛けで安心感を持つて頂く様に努めました。繰り返し訓練を行う事で、当日それぞれの隊員がスムーズにできたと思います。

今年は別会場で自治会と連携し、市民への防災指導や防災グッズを紹介する事で、私たち隊員も含めて意識向上に繋がりました。



(エアモント麻酔救護所の設営)

今年も三年連続で何もないでは、自主防災組織の存続が危ぶまれ、いざ災害時には組織が機能できるか不安でした。今年こそはどう呼びかけ、避難の伝達、誘導を行い、百六十名の区民が避難しました。

東新保は水害を知らない若い世代が増え、一方で高齢化も進み、要援護者の把握も欠かせません。安心して暮らせる地域を目指すには、自主防災組織の存在は欠かせません。

七・一三水害当时、東新保は大部分が被災し、そのために自主防災組織を作り例年三条市に対応して避難訓練を行つてきました。しかし、この二年はコロナ禍のため中止せざるを得ないことになりました。

コロナ禍の避難訓練 東新保自治会長　吉原昇四



(中学生もボランティア参加)

新ポンプ置場建築!

三条市消防団では、令和4年度に三棟のポンプ置場が建築されました。

今回、嵐南方面隊（月岡二丁目）に建築された一棟を紹介します。



令和二年度の消防団再編により、それまで消防団員の在籍者がいなかつた月岡一丁目・二丁目、曲渕三丁目、諏訪一丁目・二丁目の方々に入団をしていただきました。

準備期間の今年度までは、第五

部とともに活動を行つてきましたが、令和五年四月から、本成寺分団第六部として新たな部が立ち上がります。

それに伴い、令和四年十二月には新しいポンプ置場が月岡二丁目の百刈住宅団地内に建築されました。

今後、積載車やポンプなどの備品も順次搬入を終え、四月の本格始動へ向けて準備して参ります。

嵐南方面隊 本成寺分団長
後藤 元

新潟県総合防災訓練

10月23日 in 田上町



十月二十三日、新潟県と田上町が主催する総合防災訓練が行われ、三条消防からは古関消防長をはじめ幹部の方々と共に、消防団から訓練部のメンバー八名が参加してきました。

総合防災訓練は、防災関係機関の連携体制強化および、地域住民の防災意識向上を高めるとともに、災害に備えた対応力の向上を目的に、毎年開催市町村を変えながら実施されています。

今回の会場は、田上町役場と田上中学校の二カ所で開催され、私たち消防団は、主に田上町役場での訓練を参観してきました。震度六強の地震を想定した訓練では、倒壊家屋や土砂に埋まった車からの被災者救出など、緊迫した雰囲気の中で、消防・警察・自衛隊のほか関係機関が連携して訓練に取り組んでいました。

私たち三条市消防団も、もしもの事態に備え、日頃の訓練を充実させて参りたいと、改めて意を強くしたところです。

嵐南方面隊 南分団長
深澤 和之

各方面隊 消防演習



嵐南方面隊長

内山 元雄

消防団再編により嵐南方面隊となつて三年、新型感染症の影響で中止を余儀なくされていた方面隊演習を、十月十六日、団員数約二百名のうち、半数が集まり実施した。

本演習は、規律訓練・消防操法等の各種基本訓練、放水訓練における想定訓練を実施し、南分団・本成寺分団の連携協力と活動技術の向上、団員の士気高揚並びに、地域住民に対する防火思想の普及向上を図ることを目的に行つた。

課題は残つたが、嵐南方隊として第一歩を踏み出すことが出来た訓練だつた。

地域住民との連携訓練等は出来なかつたが、これからも消防団活動を知つていただき、防火防災等の普及向上を図る活動に取り組んで参ります。

大島方面隊

面



大島方面隊 副方面隊長

長谷川 智明

大島方面隊は令和四年六月十九日、防災ステーション河川敷で方面隊演習を行いました。

集結訓練に始まり放水訓練、規律訓練とコロナ禍での短い時間でしたが、中身の濃い訓練ができました。

放水訓練では火災現場でのトラブル等を想定し、迅速且つ安全を目標に訓練をしました。

規律訓練は、全員が統制の執れた行動になるよう新入団員とベテラン団員に分かれて幹部指導のもとで行ないました。



栄方面隊



栄方面隊 大面分団長

平岡 優智

七月三日、栄方面隊演習が行われました。方面隊としては二年ぶり、新しい編成となつては初めての自治会や駐在所長を招いての演習となりました。

放水訓練では、積載車で開始位置まで移動した後、小型ポンプを降ろし、放水まで行うという消防団としての基本的な動きを代表の部に行つてもらいました。

各部が放水し、火点を倒すことは出来ましたが、ホースや吸管の搬送・接続に関してはまだまだ課題の残るものとなりました。

コロナ禍で以前のような多人数で長時間の訓練は行なうことは出来ませんが、感染対策等、制限のなかでも栄方面隊の、放水技術や操法技術のレベルを維持し、有事の際には、安全且つ迅速に活動できるよう努めていきたいと思います。

令和五年三条市消防出初式

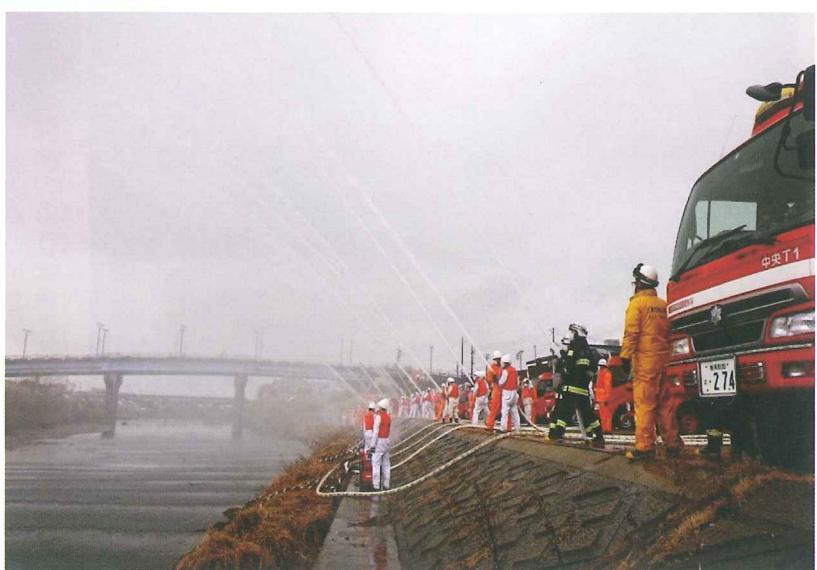


昨年に引き続き、今年も出初式での吹鳴を行ったことを喜ばしく思います。
今後もラッパを通して消防団活動を盛り上げ、よりレベルの高い吹鳴を行えるよう頑張ります。

ラッパ隊 隊長 桑原 弘光

令和五年三条市消防出初式において、
参加された来賓の方々、又、関係者の皆様、大変お疲れ様でした。
時折小雨の降る中、一斉放水会場では観覧をしに来られた市民の方々も大勢いて、緊張しながらの放水訓練となりました。子供達のキラキラ輝く眼差しも受け、また改めて身の引き締まる思いでし

大崎分団第四部 部長 渋川政和



防火チラシが出来上がりました
毎年、春の火災予防運動期間に、皆様のお宅に配布している防火チラシのイラストについて、市内全小学校の四年生に考案をお願いしたところ、四百二点の作品が寄せられました。

その中から、消防団長及び消防団予防部で選考を行った結果、裏館小学校の稲葉杜依さんのイラストに決定いたしました。

とても素晴らしいイラストを考えいただき、ありがとうございました。このチラシを見やすい場所に貼り、火の用心に心掛けていきたいと思います。



新潟県消防大会出場決定！

いざというときに…
備えあれば憂いなし！

令和五年八月六日に見附市で行われる県消防大会、小型ポンプ操作競技会に、三条市消防団の代表として嵐北方面隊が出場します。昨年十月から基本動作の訓練等、体を動かし始め今年の四月頃から本格的にホースの展張など一連の動作の訓練に入る予定です。

消防本部の皆様、又各方面隊の皆様の協力を受け大会当日まで怪我なく無事大会に出場できます様、応援よろしくお願いします。

二チームで練習し当日は一チームの出場となります。

嵐北方面隊長 高野孝雄



新潟県の新築住宅におけるオール電化住宅の割合は約半分くらいです。オール電化は暖房が安く使えたり、基本利用料が一本化するため光熱費の確認などがわかりやすくなっていますが、もちろんデメリットもあります。

大規模災害時にさまざまなインフラが停止してしまったときに最初に復旧するのは電気です。

ですが停電はどうでしょうか？

昔ほど、停電は無いですが、冬に災害や停電が起れば、オール電化は使えなくなってしまいます。そんな時、もしもの為に昔ながらの反射式ストーブやカセットコンロを準備しておけば、安心です。

近年ブームのキャンプ用品も災害時には大活躍するかと思います。大切な家族や家を守るために、準備をして安心を手に入れましょう。



現在、三条市の戸建て住宅では寝室、階段の火災報知器の設置は義務となっています。バッテリー式は耐用年数が10年ほどですので点検は忘れずに行いましょう。

新入団員紹介

本年度は新しく六十八名の方々が入団しました。（団員四十五名・女性消防隊員一名・学生消防隊員二十二名）その内、八名の新入団員を紹介します。



女性消防隊
大矢 弓子

学生消防隊
2期生
吉田 星一朗



嵐南方面隊
南分団第5部
五十嵐 英児



嵐北方面隊
東分団第1部
近藤 孝平



下田方面隊
鹿峰分団第3部
鈴木 直人



栄方面隊
中央分団第6部
佐藤 龍馬



井栗大崎方面隊
大崎分団第4部
細川 武彦



大島方面隊
大島分団第1部
清水 靖夫

この度、入団しました細川です。地域の防災に役立てる様に、頑張ります。

ご指導宜しくお願い致します。

令和四年度より入団しました。先輩方を手本とし、地域の安全を守るために頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

僕が入団を志願した一つ目の理由は、少しでも地元に貢献したいという気持ちでした。現在十九歳で、出来るところからコツコツと始めようと思います。二つ目の理由は、先輩たちの背中に強い憧れを抱いたからです。消防活動を行っている時の先輩たちは、いつもよりもカッコよく見えます。次世代を担う若者の皆さん、消防団に入団して、地元三条と一緒に貢献します。

日々の訓練や点検等に参加し、良く取り組んで、有事の際にはしっかりと地域の安全に貢献できるよう努めています。宜しくお願ひします。

三条市内に居住、または勤務・通学されている方で、十八才以上の方ならどなたでもお待ちしております。ご興味のある方は、お住まいの地区の消防団員又は消防本部までお問い合わせ下さい。三四一一一一（消防本部）

この春、消防団に入団しました。消防団員だった亡き父の思いも胸に頑張りたいと思います。ご指導等どうぞよろしくお願いします。

活動を行っている時の先輩たちは、いつもよりもカッコよく見えます。次世代を担う若者の皆さん、消防団に入団して、地元三条と一緒に貢献します。

三条市内に居住、または勤務・通学されている方で、十八才以上の方ならどなたでもお待ちしております。ご興味のある方は、お住まいの地区の消防団員又は消防本部までお問い合わせ下さい。三四一一一一（消防本部）

佐藤 義則	安井 悟
後藤 順不同	西方 壮一
長橋 安中	和弘 基裕
内山 近藤	元雄 須藤
高野 隆夫	孝雄 博和
田巻 博和	

・広報紙編集委員

西方 壮一（編集委員長）
元（副編集委員長）

編集委員長

西方 壮一

編集後記

本年も三条市消防団の広報紙を無事に発行することが出来ました。消防本部を始め、消防団関係各位、原稿を寄せて下さいました皆様、ご協力頂きまして有り難うございました。

本年はコロナ禍の影響で中止になつた行事や活動も

ある中、各ページを方面隊ごとに担当し、個性ある広報紙ができたのではないか

と思います。担当された方面隊の皆さん、ご苦労様でした。

この広報紙を多くの皆さ

ま、特に若い人からも読ん

でもらい、消防団の活動を

知つて頂いて、少しでも消

防団に興味を持ちご理解と

ご協力を頂けたら幸いで

ます。この広報紙を多くの方

が出来ました。消防本部を始め、消防団

関係各位、原稿を寄せて下さいました

皆様、ご協力頂きました

有り難うございました。